

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第4回朝霞第四小学校学校運営協議会	
開 催 日 時	令和5年2月24日(金) 午前9時00分から午前10時20分まで	
開 催 場 所	朝霞市朝霞第四小学校 会議室	
出 席 者	・井上 典子 ・高柴 嘉壽 ・一圓 みさき ・鈴木 泰代 ・田畑 康治 ・芳村 聡子 ・大倉 幾子 ・栗飯原かをり (司会・記録：市川博康)	
会 議 内 容	(1) 学校評価について (2) 学校課題について	
会 議 資 料	(1) 次第 (2) 3月13日以降のマスクの着用について (3) 卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方について (4) R5年間行事予定 (5) 学校の教育に関するアンケートの結果について	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管 (保存年限 年)	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後○か月
会議録の確認方法 司会・記録による確認		
そ の 他 の 必 要 事 項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会の言葉 開始 午前9時00分

教頭

・令和4年度第4回朝霞第四小学校学校運営協議会は朝霞市学校運営協議会規則第10条第2項に則り委員の過半数が出席しているため本協議会が成立していることを申し添えさせていただきます。

・傍聴者ありません。

2 委員長あいさつ

・コロナも落ち着き、マスク着用については、少しずつ世の中も学校も動きがあるようです。あと3学期も1ヶ月、終わりますのでまとめの時期だと思います。学校の声を聞き意義のある協議をしてください。

3 学校長挨拶

・常日頃からご支援、ご協力いただきありがとうございます。本日、学校評価、学校評価についての協議があります。ざっくばらんにいろいろな視点からご協議いただき、今後の学校活動の参考にさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

4 協議

(1) (2) 学校評価、学校の課題について

鈴木

児童が「学校が楽しい」「先生はしっかりと教えてくれる」が90%に近い数値を出しているのは、とても良いことだと思う。「運動する力」については、小中連携の必要があるように感じる。

井上

学校全体の数値だと思うが、学年ごとに差があるのかどうか。

校長

学年もそうだが、クラスによっても差がある。

井上

児童は、他のアンケートも実施している（いじめ等）ので、学校評価だけでなく、そちらのアンケートも注視している。

校長

本校は、QUテストを実施している。児童一人一人の心の状態の把握に努めている。

高柴

保護者のアンケート結果も重要だが、子供たちのアンケートの結果を重視するという観点では、とてもよい結果ではないかと思う。

一圓

アンケートは、無記名か記名式か。無記名のアンケートをするとまた結果が違う。

芳村

学校評価の「分からない」に付けた保護者は、コロナもあり学校の実情が分かっていない場合があるのではないか。また、教職員アンケートに「持久走大会がなくなったのはどうなのか」と記載されていたが、体力向上の観点からは実施した方がよかったのではないか。

校長

「持久走」がなくなったのではなく、体育の単元で例年どおり実施している。また、持久走の単元だけでなく、体育の授業の中で体力向上に取り組んでいる。

井上

昨今、働き方改革が叫ばれ、行事の精選に苦慮している。持久走大会も含め、行事の精選は、学校の課題の一つであるのではないか。

鈴木

朝霞三中の入場行進や小学校の組体操は、とても見ごたえがあった。実施することになれば練習時間に増え行事の精選とは逆の傾向になってしまい、難しい。

高柴

今年の四小の運動会はとても感動した。見ごたえがあった。今年のような感じではないのではないか。

田畑

保護者と児童のアンケート結果を比べてみると、数値にズレが生じている。これは、家庭の中で子供の話と保護者の認識の違いではないか。「分からない」の評価は、学校に関心があるのかないのか、この学校評価の難しいところ。世の中が変容している中、子供と大人の会話が成立しているのかどうか。児童のアンケートNo.1とNo.0が重要ではないか。

校長

多様性という聞こえはいいが、保護者の考え方が違いを最近感じる。若手の教員が増え、若手の人材育成が課題という場面が多くある。

田畑

規律の面では、上手くいかないから規律をつくる、規律を守らせることに時間がかかるルールはシンプルにした方がよい。先生が自動に背中を見せることが大切ではないか。

井上

ルールとしつけは違う。家庭と学校のルールを一緒にしなければならぬ。将来の自分に役に立つことを教え込むことが必要。

一圓

家庭でも学校と同じルールを話し合えるとよい。

校長

何かあったからルールを作り、子供たちをルールという型にはめるのはどうかと思う。子供たちでよく話し合うことが必要である。

大倉

P T Aに関心のない人が増えてきている。関心のない人がいろいろ言う。

高柴

P T Aの執行部は、よくやっていると感じる。

大倉

規模が小さくても献身的に実施している。活動するメリットを周知して参加を呼びかけている。

井上

学校に来て担任と話ができる。そういうメリットがP T A活動にはある。保護者へのP T A活動への周知の仕方が課題ではないか。

○連絡

- ・マスク着用についての厚生労働省、文科省通知について
- ・第3学期の行事予定、卒業証書授与式について
- ・令和5年度学校行事計画について

5 閉会の言葉

終了 午前10時20分